

# 「患者安全」を目指すシミュレーション看護教育システムの開発

織井優貴子<sup>1)</sup>、浅香えみ子<sup>2)</sup>、池上敬一<sup>2)</sup>、鈴木克明<sup>3)</sup>、内藤明子<sup>4)</sup>、船木 淳<sup>5)</sup>、伝法谷明子<sup>5)</sup>

1) 青森県立保健大学大学院健康科学研究科、2) 獨協医科大学越谷病院、  
3) 熊本大学大学院社会文化科学研究科、4) 首都大学東京大学院人間健康科学研究科、5) 青森県立保健大学

**Key Words**①シミュレーション医療教育 ②高度再現度シミュレータ  
③インストラクションデザイン ④看護基礎教育 ⑤患者安全

## I. はじめに

シミュレーション看護教育は、現在欧米に普及しつつあり、質の高い看護教育を実践するひとつのツールとして高く評価されつつある (Michael A, et al, 2004)。高度再現度 (High-fidelity) シミュレータは、最も実際の患者の状態に近い再現ができ、意図した状況でより臨床に近づいた体験が出来、自信を深める事が可能である (Michael A, et al, 2004)。

「シミュレーション看護教育」は看護実践能力の向上のために必要な知識・技術だけでなく、[non-technical-skill]すなわち、精神運動領域である観察力、判断力、実行力、チームワーク、リーダーシップ、ストレスマネジメント能力向上が期待できる。

## II. 目的

本研究の目的は、「患者安全 (Patient Safety) = 患者の命を守る」を達成する「人・チーム」の看護教育システムを開発することを目的とする。具体的には、高度化・複雑化する医療のなかで、質の高い安全な医療の実践家養成のために「さまざまな症状や徴候を再現する高度再現度シミュレータ (高性能人体モデル人形)」を用い、患者安全が確保できる「シミュレーション看護教育システムの開発」を目指す。

## III. 研究の経過

### 1. ハワイ大学におけるシミュレーション看護教育 ワークショップの企画助言

日本の看護教員・指導者を対象としたシミュレーション看護教育ワークショップの企画運営に対する助言をおこなった(8月26・27日実施)。

シミュレーション医療教育の基本的な考え方および実践を含み、2日間のプログラムを展開した。今回の企画では、シミュレーション看護教育そのものが初めてである参加者が多かったこと、臨床看護を離れた期間が比較的長い教員が対象であったことから、事例として用いたシナリオが難しかったこと、シミュレーション看護教育の基本的な考え方を日本語通訳で示すには限界があったことが課題となった。

### 2. シナリオを用いた教育の展開

学生及び臨床の看護師を対象とした教育プログラムの展開を予定していたが、震災のためその成果の確認が出来なかった。

## IV. 成果及び考察

シミュレーション看護教育の基本的な考え方、および日本におけるシミュレーション看護教育の現

状について、学会あるいは講演会によってその考え方を示した(後述のとおり)。

今後は、シミュレーション看護教育プログラムとしてシナリオをベースとした教育プログラムのデータを集積し、その成果をまとめ国内外に誌上发表する事が課題である。

## VI. 文献

- 1) 鈴木克明：教材設計マニュアルー独学を支援するために. 北大路書房, 2002
- 2) 浅香えみ子：臨床看護教育とシミュレーション：インストラクショナル・デザインの重視. インターナショナルナーシングレビュー, 31(4), 25-29, 2008
- 3) Ake G. et al. (3):New aspects on critical care medicine training. Current Opinion in Critical Care, 10 233-237, 2004
- 4) Michal A. et. al. (3): Simulation : Not Just a Manikin. Journal of nursing Education, 43(4), 164, 2004
- 5) 森山美智子 他3名：シミュレーション学習による技術教育の強化. 臨床判断と一連の動作を学習する方略. 看護教育, 47 (9) , 804-809, 2006
- 6) 織井優貴子:海外のスキルス・ラボからのレポート 2008 -International Meeting on Simulation in Healthcare Report. インターナショナルナーシングレビュー, 31(4), 2008

## VII. 発表 (誌上发表、学会発表)

### 1) 学会発表

1. 織井優貴子, 他：高性能シミュレータを用いた看護演習の試みー手術を受けた患者のシナリオを使用してー, 第30回日本看護科学学会学術集会講演集：226, 2010.12 (札幌)
2. 織井優貴子, 他：患者のアセスメント能力向上のための高性能シミュレータ活用の試み. 第3回日本医療教授システム学会総会プログラム・抄録集, 37, 2011.3 (東京)

### 2) 講演等 (国内)

1. 織井優貴子:(講師)『学習環境とデザイン』. 日本医療教授システム学会 Workshop 2010.4(新潟)
2. 織井優貴子:(ラウンドテーブルディスカッション ファシリテータ)「看護教育とシミュレーションの可能性について」. 日本医療教授システム学会主催, 2010.11 (東京)
4. 織井優貴子:(講師)「看護基礎教育と卒後教育ーシームレスな連携を目指してー」. 全国公私病院連盟 第21回看護管理者セミナー 2011.2 (東京)
5. 織井優貴子:「看護基礎教育と卒後教育を結ぶ教育教材のあり方」. 第3回日本医療教授システム学会総会 (RTD), 2011.3 (東京)
6. 織井優貴子:(講師) Simulation Based Education -高性能モデル人形で広がる教育の輪-. 大学コンソーシアム青森 第3回ワイガヤ会. 2010.9 (青森)

(国外)

1. Yukiko Orii:(招聘講演):Simulation based Nursing in Japan. The 4th Halla/Newcastle PBL Center INTERNATIONAL SYMPOSIUM CHEJU HALLA CALLEGE, KORIA, 2010.12 (韓国)
2. Yukiko Orii:(シンポジスト)日本におけるシミュレーション看護教育の現状と課題」. The 4th Halla/Newcastle PBL Center INTERNATIONAL SYMPOSIUM CHEJU HALLA CALLEGE, KORIA, 2010.12 (韓国)